

### 3. ホールの施設内容、設計、建設工事について

次に、ホールの設計や建設工事など、ハードに関する計画づくりの現状や課題を整理しよう。はじめに、アンケート調査の結果から、最近のホール施設の規模や主要用途を整理した。

#### (1) ホールの規模、主要用途、併設施設

今回のアンケート調査は、過去5年間に開館したものを対象としており、敷地面積や施設の規模、ホールの主要用途等については次のような傾向が見られた。なお、調査対象の中には、ホール以外の施設が複合されたものも含まれているが、そうした複合施設の場合、ホール部分の区分が難しいため、分析は施設全体を対象にした。したがって平均値や最大・最小値については、あくまでも参考数字である。

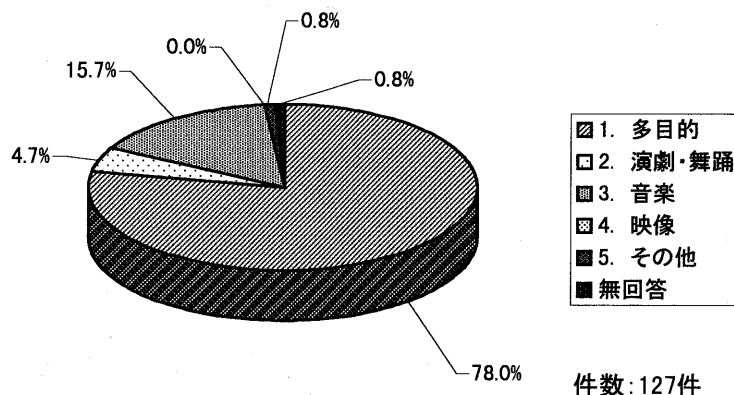
##### ① 施設の規模

- 敷地面積の平均は約2万3,000㎡。中には40万㎡、20万㎡といった広大な敷地を有する施設もあるが、これらはいずれも公園の中に立地する施設である。
- 建築面積の平均は約4,750㎡。最大規模の事例としては、建築面積が1万3,000㎡を超える施設が3件あった。
- 延床面積の平均は約9,600㎡で、最も延床面積が広いところは6万㎡を超えており、約4万㎡、3万㎡の延べ床面積を有する施設も、各1件あった。

##### ② ホールの内容・規模

- 複数のホールを設置するケースが多く、1館あたりの平均のホール数は1.6である。
- ホールの主な用途は、主ホールでは「多目的」が99件(78.6%)、「音楽」20件(15.9%)、「演劇・舞踊」6件(4.8%)となっている。また、延べホール数で見ると、「多目的」が4分の3を占めることから、多目的ホールが多いことがわかる(注:ホールの主要用途として複数に回答したものは、「多目的」とした)。

Q4-1-①. ホールの主要用途についてお答えください。



注) 複数のホールが設置されている場合は主ホールの用途を集計した。

- また、ホールの総座席数(複数のホールがある場合は合計座席数)は、平均で930席。中には8,500席、6,300席、5,600席といった規模の施設もあるが、これらはいずれもコンベンション、スポーツイベントに対応できる大型の多目的施設である。一方、座席数の最も少ないホールは108席であった。

③ 観客用駐車場台数(複合施設の場合は施設全体の駐車場台数)

- 観客用駐車場台数の平均は約250台となっている。車ででの来場が中心になると思われる地方都市の大規模ホールや複合施設の場合、700台を超える駐車場が整備されているケースもある(5件)。
- 一方、大都市圏に立地するホールでは観客用駐車場を設置していないホールや複合施設の有料駐車場を利用するホールが多くみられる。

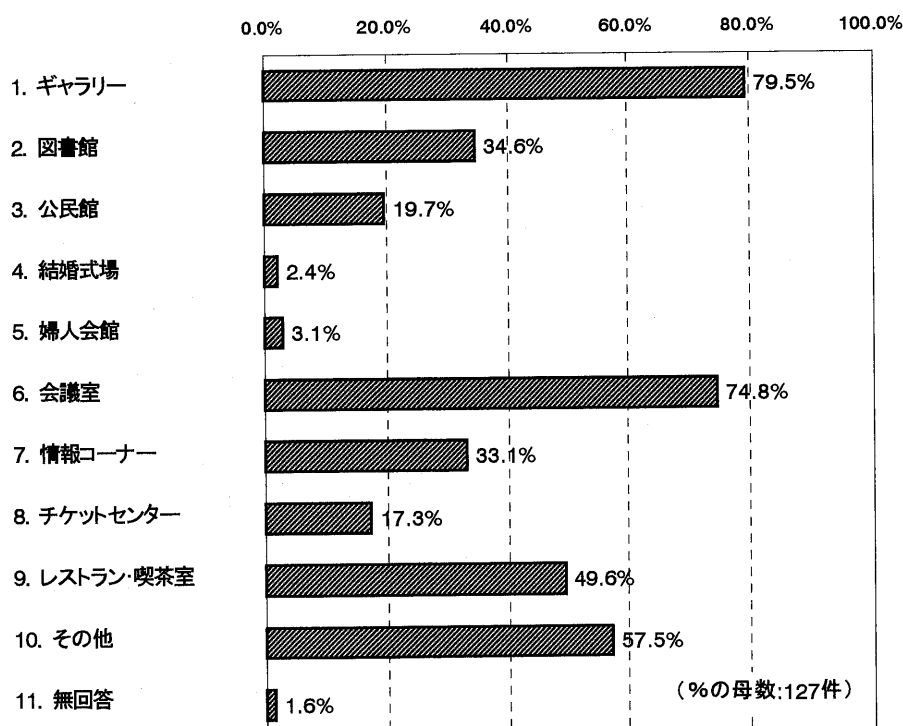
Q4-1-②. ホールの規模についてお答えください。

	平均	最大	最小
敷地面積 (㎡)	23,304.4	389,665.0	1,362.0
建築面積 (㎡)	4,751.7	13,960.1	388.0
延べ床面積 (㎡)	9,599.6	60,630.0	315.0
ホールの設置数	1.6	7	1
ホールの総座席数 (席)	930.9	8,500	108
観客用駐車場台数 (台)	248.3	849	0

注) 敷地面積:公園内に設置されたホールを含む。  
 建築面積、延べ床面積、観客用駐車場台数:複合施設の場合は施設全体を対象とした。

④ ホール以外の併設施設

Q4-2. ホール以外の施設が併設されている場合該当するものを選んでください(複数回答)。



- ホール以外の施設としては、7～8割のホールで「ギャラリー」(101件、79.5%)、「会議室」(95件、74.8%)が併設されている。「レストラン・喫茶店」73件(49.6%)、「図書館」44件(34.6%)、「情報コーナー」42件(33.1%)などを設置するホールも多い。
- 「その他」には、練習室・リハーサル室(23件)、和室・茶室(18件)、展示室・展示スペース(9件)、調理室(7件)、視聴覚室・ハイビジョンコーナー(7件)をはじめ、創作室、学習室、保育室、温泉、運動施設、保健センターなどがあり、ホールが、地域のコミュニティ施設としてさまざまな機能や役割を担っていることがわかる。

## (2) 建設事業費とその財源

### ① 建設事業費の内容

- アンケートに回答のあったホールの、用地取得費、設計・管理費、工事費等の事業費、ならびに維持・管理費等の平均値、最大・最小値は下表に示したとおりである。
- 総事業費が最大のホールはコンベンション施設の複合された県立の施設で、約700億円。費目別でも、この施設は「その他」を除くすべての項目で最大の事業費を要している。
- 「その他」に100億円以上の経費がかかっている例があるが、これは周辺公園や道路整備に要した費用である。
- また、「その他」の内容としては、事務費(16件)、移設に係る費用(移転補償費、既存建物除去費)(4件)、モニュメント・アートワーク(4件)、周辺整備費(3件)、駐車場(3件)等が複数回答のほか、パイプオルガン、音響・舞台設備代、事業税、水道引込み負担金、電波障害対策費などがあげられている。

**Q4-3-①.** ホールの建設に要した総事業費とその内訳、ならびに現在の施設の維持・管理費をご記入ください。

	平均	最大	最小
用地取得費	12億 578万円	163億9,730万円	0万円
設計・監理費	1億8,823万円	14億6,004万円	1,764万円
工事費等	60億4,218万円	511億4,827万円	8,480万円
備品購入費	2億2,170万円	15億 327万円	0万円
その他	3億5,055万円	110億2,000万円	0万円
総事業費①(上記の計)	76億1,656万円	705億4,896万円	3億 258万円
総事業費②(用地取得費を除く)	67億4,705万円	541億5,165万円	2億8,937万円
維持・管理費(98年度決算額)	1億5,039万円	8億 852万円	391万円

注) 平均値は、無回答および0円と記載されたものを除外して、実数の記入があったホールの数で算出した(したがってサンプル数は費目によって異なる)。  
 設計・監理費、工事費、備品購入費の内訳がわからないものについては、一括して工事費等として集計し、平均値を求めた。  
 用地取得費の有無が総事業費に大きく影響を与えるため、総事業費については、①:用地取得費を含んだ合計額、②:用地取得費を除いた合計額の2種類を集計した。  
 維持・管理費は、光熱水費、清掃・警備費、設備メンテナンスなど、建物の維持管理にかかる費用で人件費は除く。